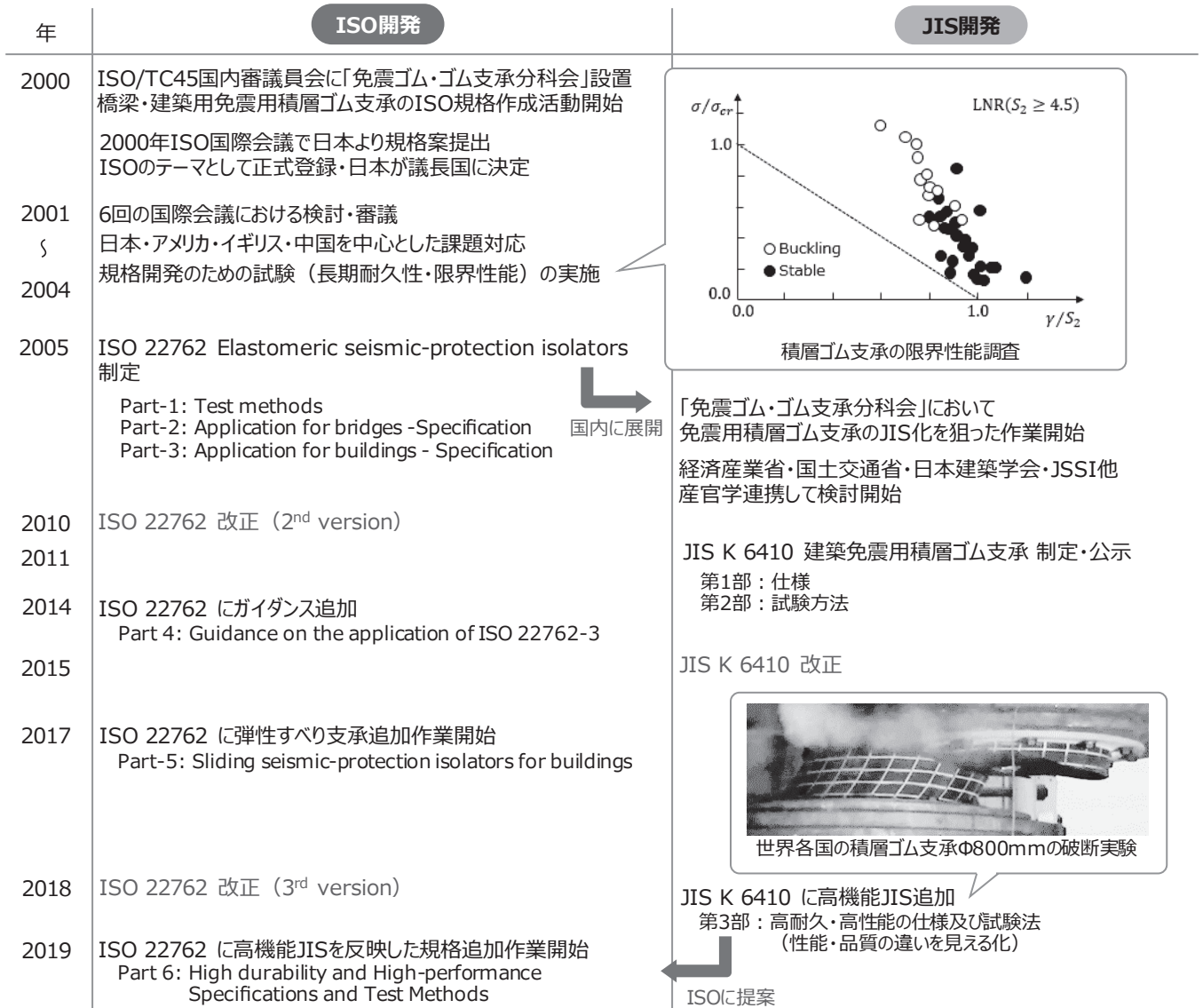


# 免震用積層ゴム支承に関する国際標準化 (国際規格整備)

一般社団法人日本ゴム工業会：青木正己  
 東京大学・東京工業大学：西 敏夫  
 株式会社ブリヂストン：鈴木重信  
 オイレス工業株式会社：澤田 毅  
 昭和電線ケーブルシステム株式会社：福田滋夫

## 選評

ISOはスイスのジュネーブに本部を置く非政府機関 International Organization for Standardization (国際標準化機構)である。ここで制定された規格 (ISO規格)はヨーロッパを中心とした技術規格であるが、世界的に最も参照されているものである。申請者はゴム工業会、学術関係者、建設関係者、及びメーカー各社をリードし、免震用積層ゴムの仕様、試験方法、及び高耐久性化について規格案をまとめた。引き続きISOに働きかけ、上記技術規格案を2005年にISO22762として発行にこぎつけた。日本は免震構造の技術レベルとその普及で世界をリードしている。本活動は我が国の免震構造技術の世界的な展開と、健全な普及に大きく貢献するものである。更に、この内容とほぼ同じものを日本においてもJIS化する活動を推進し、2011年にJIS K 6410として発行にこぎつけ、日本における免震構造の更なる普及発展を加速するのに貢献した。以上の功績により本活動を本年度の免震構造協会賞普及賞に選定した。(東野雅彦)



(一社) 日本ゴム工業会 ISO/TC45 国内審議委員会「免震ゴム・ゴム支承分科会」における規格開発活動概要